

● 主な事業を紹介します ●

市政積年のもしくは社会先進的な課題の解決に踏み出すための**最重点5項目**
 特に力を入れて取り組むべき**3つの柱**とその全てにおいて共通して意識すべき**2つの底流**に分け、
 より分かりやすく**パッケージ化**
 これらを有機的に組み合わせることで、より効果的・機動的に市政を前に進めていきます。
※端数処理をしているため、合計が合わないことがあります。また、主な事業のみ掲載しているため、個別事業費は合計の内訳の一部です。

令和7年度 当初予算

ページID 40219

問い合わせ 経営企画課 企画政策係(☎内線535)
財政係(☎内線502)

好循環を次代につなぐ集大成予算



楠田市政二期目最終年度の集大成・総仕上げとして、第2期総合戦略の4つの構想・戦略とそれに基づく二期目公約に加え本年度新たに位置付けた市政積年のもしくは社会先進的な課題の解決に向けた5つの最重点事項(3つの柱と2つの底流)を有機的に組み合わせ「好循環を次代につなぐ集大成予算」と銘打ちました。

恒常的な少子化対策や高齢者福祉などに加え物価高騰や人件費増など歳出圧力がさらに高まる中、順調に増加してきた市税やふるさと納税などによる歳入増や積み上げてきた各種基金、削減してきた市債も活用し、歳出の積極的効率化も行いつつ、市民の幅広いニーズに応え課題解決に資する予算確保に最大限努めました。

その結果、予算規模は337億円余と昨年を12.4%上回る過去最高となり、この8年で約100億円増加しました。市税も同じく約10億円増加し、ふるさと納税も財源の一定割合を占めるまでになりました。出生数も一時的に増加し、社会増も2年連続達成するなど好結果も出ています。この好循環を次代に着実につなぎます。

総合戦略構想別で見ると	合計
第1の戦略 太宰府の底力総発揮構想(成長戦略)	13億7,884万円
第2の戦略 太宰府型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)	45億 248万円
第3の戦略 令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想(圏域拡大戦略)	18億4,584万円
第4の戦略 1300年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想(行財政改革戦略)	27億 568万円
合計	104億3,283万円

市政積年のもしくは社会先進的な課題別で見ると	合計
1 危機管理の徹底強化(柱1)	21億8,642万円
2 子どもまんなかの施策展開(柱2)	40億 915万円
3 市民と交流人口・関係人口の相互発展(柱3)	15億9,594万円
4 新しい公共をテーマとした仕組みづくり(底流1)	4億3,492万円
5 歳出入一体改革の推進(底流2)	19億 750万円
◆ その他の重点事項	2億9,891万円
合計	104億3,283万円

参考 世代・カテゴリ別 予算額	合計
安心して生み育てられるまちに(妊娠・出産期) 小さな子どもたちがすくすくと(就学前児童)	35億1,824万円
子どもたちの心と身体に栄養を(小・中学校児童生徒)	40億3,981万円
次代を担う子どもたちの未来のために(子育て期全般)	32億1,775万円
いくつになってもチャレンジ(高齢者)	27億4,762万円
全世代が楽しく元気に過ごせるまちに(全世代)	165億9,856万円
多様な人材の居場所と出番づくり(女性・氷河期世代など) 障がいのある人に寄り添うサポート(全世代)	36億2,740万円
合計	337億4,935万円

※端数処理をしているため、合計が合わないことがあります。

1つ目の柱 危機管理の徹底強化 20億円超

これからの時代は常に災害や犯罪などの危機があると認識し、最近横行する闇バイト犯罪や日本一の猛暑、大規模な自然災害などから市民や観光客参拝客などの生命財産を守るための体制の整備、訓練および情報発信などを徹底強化していきます。

◆ **闇バイト対策をはじめとした防犯力向上パッケージ** 約1億円

- ▶住宅等防犯対策事業 1,000万円 第2の戦略 第4の戦略

闇バイトによる強盗事件等の犯罪から市民の生命財産を守り、犯罪の抑止力強化のため、住宅等の防犯対策に要する費用を助成。詳しくはP16～17へ

◆ **「日本一の猛暑のまち」対応パッケージ** 約8億5千万円

- ▶地球温暖化対策の推進 3,074万円 第2の戦略 第4の戦略

日本一の猛暑のまちとしてゼロカーボンシティの実現をさらに進め、戸建住宅用再生可能エネルギー発電等設備および次世代自動車の導入を促進するための助成を継続。
高齢者にエアコン購入費用の助成を新たに開始

◆ **地震災害をはじめとした災害対応パッケージ** 約10億円

- ▶観光・参拝危機管理マニュアルの策定 300万円 第3の戦略 第4の戦略

市民や観光客等の生命を守るとともに、災害発生後の市内観光産業の早期回復や事業継続に向けた支援等を行うためのマニュアルを策定



2つ目の柱 子どもまんなかの施策展開 40億円超

子どもを令和の都だざいふの宝としてまんなかに位置付け、絶対的にその命を守り、すくすくのびのびと成長できるよう、更なる居場所や出番づくりなど子ども施策を推進していきます。また、このことにより出生数や子育て世代の増加を促し、本市の自立持続可能性をさらに高めます。

◆ **子どもまんなかパッケージ** 約30億円

- ▶小中学校屋内運動場空調設備整備事業 7億1,776万円 第2の戦略 第4の戦略

出来る限り暑くなる夏前に小学校6校および中学校3校の屋内運動場に空調設備を整備



学校体育館の空調

◆ **給食パッケージ** 約4億円

- ▶小・中学校給食費の助成 1億2,650万円 第2の戦略

令和の都だざいふの宝である子どもたちが安心して栄養バランスのとれた食事を摂られるよう引き続き前年度給食費の3割を助成



前年度の九州国立博物館ツアーズ

◆ **世界に羽ばたく人材育成パッケージ** 約2千800万円

- ▶九州国立博物館ツアーズ 448万円 第2の戦略

市立小・中学校の児童生徒が九州国立博物館特別展を観覧。
グローバルな視点を持った子どもを育成するとともに九州国立博物館との更なる連携

◆ **ひきこもり・不登校等対策パッケージ** 約1億円

- ▶メタバースを活用した不登校支援事業 101万円 第2の戦略

不登校児童生徒の支援としてメタバースを活用した新たな居場所を提供。
既存の支援事業とつながりを持たせたバーチャルとリアルハイブリットな支援から児童生徒の自立へ

2つ目の底流

歳出入一体改革の推進

19億円超

多様化し拡大する市民ニーズに応えつつ持続可能な行財政運営を堅持するため、戦略的まちづくりや一体的情報発信、地域経済の活性化など歳出入一体改革を図っていきます。

- ◆ **戦略的まちづくりパッケージ** 約2億円
 - ▶ 課題解決先進モデルの実現 844万円 第1の戦略
 - まちづくりビジョン会議・市民意識調査の実施および職員が先進地を視察し、特色ある施策を推進することで社会先進的な課題解決モデルを実現
- ◆ **一体的情報発信パッケージ** 約1千500万円
 - ▶ シティプロモーションの推進 1,000万円 第1の戦略
 - おとものタビットを活用したプロモーション、デジタルサイネージを活用した観光情報発信、新たな情報発信手段について調査研究
- ◆ **地域経済活性化パッケージ** 約4億2千万円
 - ▶ 地域経済の発展・保護 1億6,008万円 第1の戦略
 - 創業時の経費補助、地域課題解決を図る創業者への創業時の家賃補助を継続
 - 物価高騰対策としての消費者・事業者補助やプレミアム付商品券を発行
- ◆ **歳出入一体改革パッケージ** 約12億5千万円
 - ▶ 民間プール等を活用した水泳授業委託 4,541万円 第4の戦略
 - 民間プール等を活用した水泳授業を全小学校で実施
 - ▶ 学校プール跡地の有効活用 4,807万円 第4の戦略
 - 民間プール等を活用した水泳授業委託の取組により使用しなくなる屋外プールを解体し、用地を有効活用
 - ▶ ネーミングライツ制度の検討 10万円 第4の戦略
 - 公共施設等への愛称を付与する権利を公共施設等に導入し地域活性化



西鉄福岡駅のデジタルロングボード



民間プール等を活用した水泳授業委託

その他の重点事項

- ◆ **氷河期世代対策はじめ社会課題解決パッケージ** 約1千万円
 - ▶ 就職氷河期世代の職員採用(職員採用・育成の充実) 511万円 第2の戦略
 - 就職氷河期世代を含めた雇用促進とともに包括的な対策検討
 - ▶ 結婚支援の推進 20万円 第2の戦略
 - 多様な出会いの機会づくりの検討、本市独自のパートナーシップ宣誓制度の導入
 - ▶ 孤独・孤立対策の推進 339万円 第2の戦略 第4の戦略
 - 当事者や家族が抱える課題の整理・助言、コミュニケーション能力の回復、復学や就労等に向けた活動を支援
 - ▶ 自殺対策事業 47万円 第2の戦略 第4の戦略
 - 精神科医と連携した「こころの健康」に関する相談窓口を設置
- ◆ **高齢者等支援パッケージ** 約2億円
 - ▶ 帯状疱疹予防接種事業 682万円 第2の戦略
 - 健康で安心して暮らすことができるよう65歳以上の定期予防接種を開始
- ◆ **人権・多様性の確保パッケージ** 約8千万円
 - ▶ 人権尊重のまちづくりの推進 743万円 第2の戦略
 - 全ての市民が不当な差別を受けることなく、個人が尊重され、いきいきと暮らすことができる人権尊重のまちづくりを推進



就職氷河期世代の職員採用説明会

3つ目の柱

市民と交流人口・関係人口の相互発展

15億円超

令和の都だざいふとしてさらなる飛躍を期すとともに、住まう人も訪れる人もともに喜び合えるまちとして、観光客参拝客からの経済税収効果を飛躍的に高め、市民メリットを体感できる仕組みを創っていきます。

- ◆ **令和の都だざいふパッケージ** 約2億円
 - ▶ 梅花の宴再現 325万円 第3の戦略
 - 「大阪・関西万博」で開催する「令和の万葉大茶会2025年あすか万博大会」において「梅花の宴」を行い、本市を世界に発信
 - ▶ 特別史跡大宰府跡整備基本設計 4,730万円 第3の戦略
 - 令和6年度に策定した特別史跡大宰府跡整備基本計画に基づき、整備基本設計を策定
- ◆ **交流人口・関係人口による経済税収効果パッケージ** 約9億円
 - ▶ ユニバーサルツーリズムの推進 300万円 第3の戦略
 - すべての人が安心して観光を楽しむ「ユニバーサルツーリズム」を推進するため、「ユニバーサル地図/ナビ」を導入
- ◆ **オーバーツーリズム対策パッケージ** 約3億2千万円
 - ▶ オーバーツーリズム対策事業 2,045万円 第3の戦略
 - 観光客が多数来訪する時期に、臨時駐車場・トイレの設置、交通誘導員を配置。参道周辺店舗に対しゴミ袋を配布、参道周辺の清掃強化



過去の梅花の宴再現



にぎわう太宰府天満宮参道

1つ目の底流

新しい公共をテーマとした仕組みづくり

4億円超

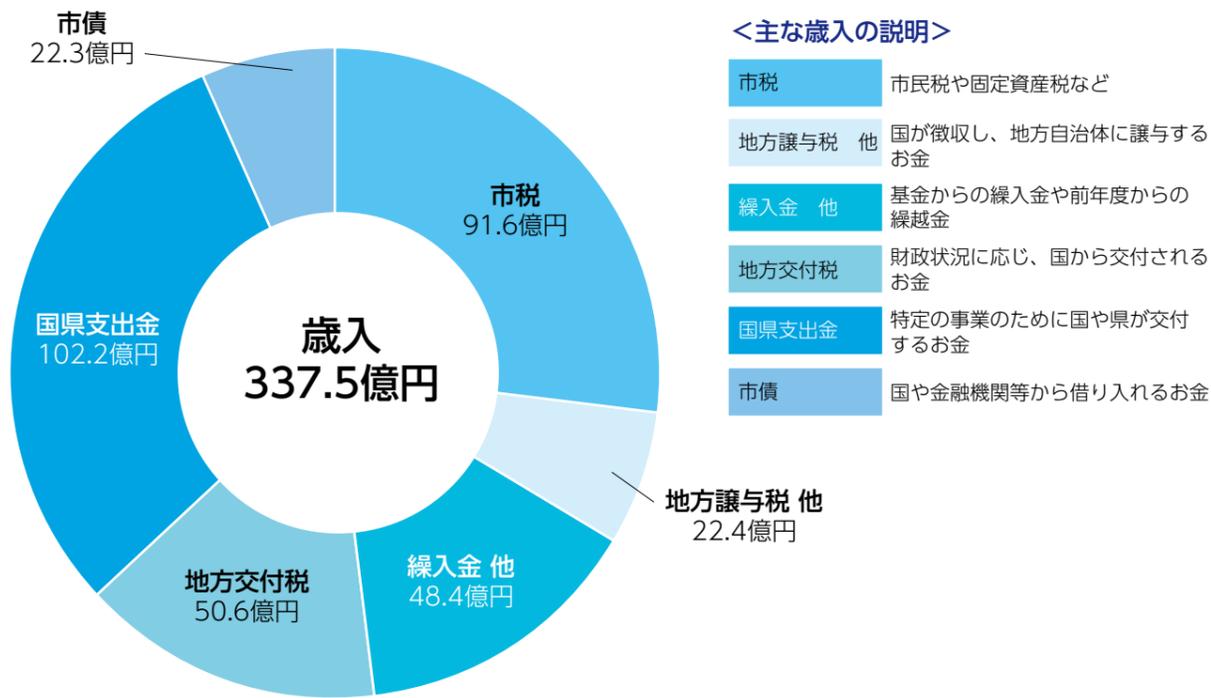
市と自治会、教育や子育て、まちづくり、防犯や防災、医療や福祉団体等の多様な主体が参画し、対話と協働を進めることで、連携しながら社会課題の解決を図る仕組みを創っていきます。

- ◆ **新しい公共の仕組みづくりパッケージ** 約1億7千万円
 - ▶ 新しい公共座談会の実施 100万円 第2の戦略
 - 各種団体などの多様な主体が参画し、対話と協働を進め連携しながら社会課題解決へ
 - ▶ 公園・公民館・公共施設の再定義、多面的な利活用の検討 1,000万円 第4の戦略
 - 公園や公民館、公共施設などに求められる役割や意義について様々な観点から再整理
 - 公共施設の再定義や多面的活用について検討し、新しい公共の仕組みづくりにつなぐ
- ◆ **公共交通パッケージ** 約2億6千万円
 - ▶ 第二種運転免許取得支援事業 100万円 第3の戦略
 - 就業機会の拡大や運転士確保のため、第二種運転免許取得費用の一部を支援
 - ▶ デマンド交通実証実験事業 3,300万円 第3の戦略
 - 民間事業者の新技术・サービスを活用した公共交通体系の検討・実証



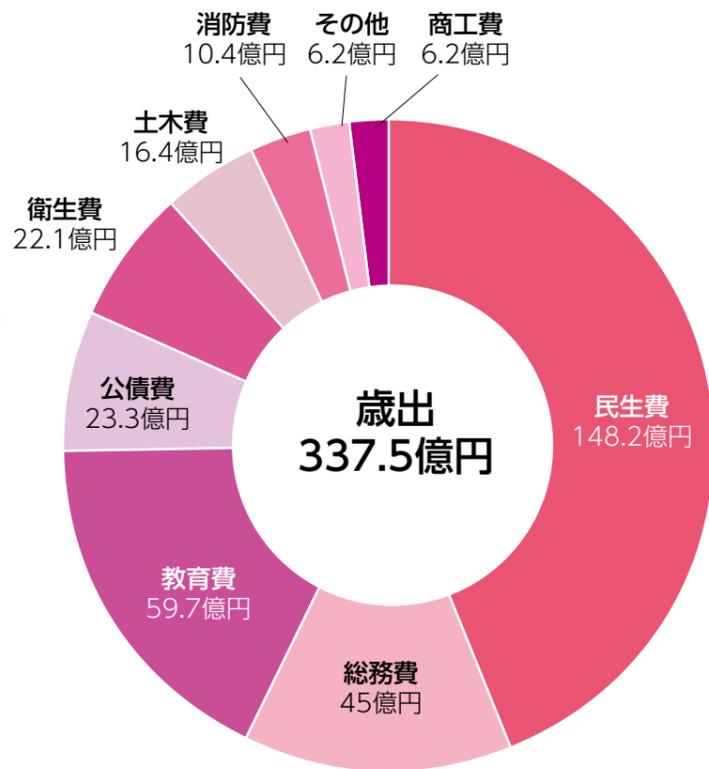
デマンド交通のイメージ

歳入・歳出の内訳



<主な歳入の説明>

市税	市民税や固定資産税など
地方譲与税 他	国が徴収し、地方自治体に譲与するお金
繰入金 他	基金からの繰入金や前年度からの繰越金
地方交付税	財政状況に応じ、国から交付されるお金
国県支出金	特定の事業のために国や県が交付するお金
市債	国や金融機関等から借り入れるお金



<主な歳出の説明>

民生費	子どもや障がい者、高齢者などの福祉の費用
総務費	市の運営、戸籍、選挙など
教育費	小・中学校の運営、文化スポーツの振興
公債費	借入金の返済
衛生費	健康づくり、ごみ処理費用
土木費	道路や公園などの整備
消防費	防災費用
その他	議会、農林水産業など
商工費	商工業の振興

その他の会計

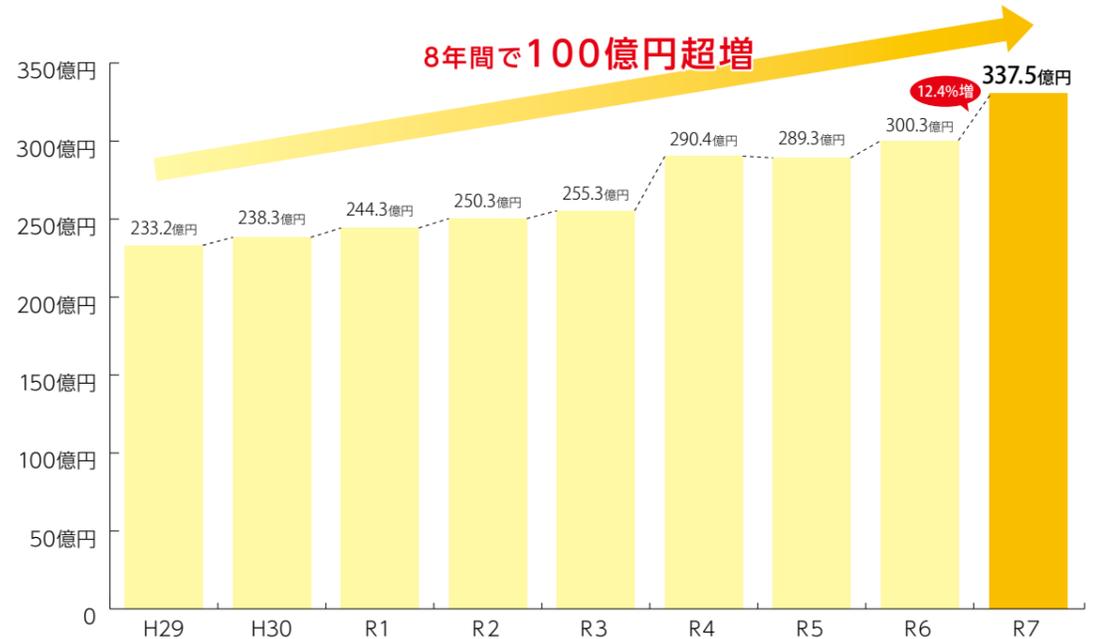
特別会計	国民健康保険や介護保険などの特定の事業を行う会計	153億9,133万円
公営企業会計	市が経営する企業の会計 (水道・下水道)	50億2,957万円 (支出ベース)

●数字で財政面からお知らせします●

一般会計	福祉・教育・土木・衛生などの市町村の基本的な施策を行うための会計	337億4,935万円
------	----------------------------------	-------------

「好循環を次代につなぐ集大成予算」と位置づけ、市民の幅広いニーズに応え課題解決に資する予算を確保し、予算規模は337億円余と昨年を**12.4%上回る過去最高**となりました。予算規模はH29年度から**100億円超増**、歳入の市税当初予算額はH29年度から**10億円超増**となっています。

一般会計予算の推移



市税当初予算額の推移

